

「大根占小学校の馬場の田ノ神様の調べ学習の取組」

1 学校名

錦江町立大根占小学校

2 学年・人数

3年生（計26人）

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

令和元年5～6月 総合的な学習の時間及び社会科で見学計画立案

6月6日 郷土巡り

6～7月 発表資料作成

(2) 発表の日時・場所

7月9日 社会科での発表会

4 活用に取り組んでいる史跡・時代・特徴について

(1) 名称・時代

馬場の田ノ神様：年代不明（おそらく享保時代といわれている）

(2) 特徴

頭にこしき，右手にしゃもじ，左手にすりこぎを持つ高さ92センチほどの石像。廃仏毀釈により顔が傷つけられている。

5 保存会や地域との連携の具体

本石像は本校区内木原地区の水田脇に建立されている。古くから地域に残る歴史的遺物として，3年社会科における郷土巡り学習時の見学場所の一つとして取り上げている。

馬場地区水田脇歩道にあり，近隣所有者で協力して管理しているそうである。特に保存会などの団体はない。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

当該地区公民館長が地域の歴史，史跡等について詳しく，1学期に計画されている3年社会科「郷土めぐり」では，毎年ご夫婦揃ってガイドを引き受けてくださっている。

校区内を巡り身近な地域の様子を学ぶ見学活動の中で，田の神様については日本全国いろいろな場所に設置され，豊作を神に祈る農民たちの思いや生活の様子などについても説明していただいている。この馬場ノ神様は横に石碑も設置されており，その席に書かれていることも呼んでいただいている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【馬場の田ノ神像】



【説明石碑】



【見学の様子】



【馬場の水田地帯】

8 参加児童・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【公民館長】

- ・ 本校区は歴史も深く、調べようと思えばいくらでも調べられるものがある。小学生も地元に興味をもって、これからも調べていてもらいたい。

【教職員】

- ・ 校区を自分の足で歩く体験はあまりなく、この田の神様をじっくり見学したのは初めてだった。ほかにも史跡があると聞いているので、自分の目で観察して、児童にも伝えていきたい。

【児童】

- ・ 田の神様の顔がつぶされていてかわいそうでした。やさしそうな神様なのに、昔の人はなんでこんなことをしたのかふしぎです。これからも田んぼを守ってほしいと思います。